

News 1 | みどりとふれあう月間

**みどりへの関心を高める
体験イベントも開催**

毎年4月15日から5月14日は「みどりの月間」です。期間中は多くの方に、自然に親しみ、理解を深めてもらえるよう、全国各地で行事が開催されます。

まず、4月27日に、第12回「みどりの式典」が開催され、みどりに関する功績があった方々に賞の授与などがあります。

5月12、13日には「みどりの感謝祭」を日比谷公園などで開催。2日間にわたって行われる「みどりとふれあうフェスティバル」では、森林づくりをテーマとした展示が行われ、都会に暮らす方々が森林とどのように関われるかが分かれます。全国の森の恵みを販売する物産展もあります。このほか、ボルダリングやチェーンソーを体験できたり、木のクラフトなどで遊べたりする、子どもから大人まで楽しめるイベントです。

また、森林づくりや地球温暖化の防止に役立てられる「緑の募金」運動が、各地で重点的に実施されます。

青葉が薫る季節になります。全国に約1000カ所あるレクリエーションの森では、美しい森林風景や野外スポーツを楽しめます。この機会に、みどりを感じてみてはいかがでしょうか。

みどりの式典



天皇后両陛下ご臨席のもとに行われた昨年の式典の様子。

レクリエーションの森



上高地自然観察教育林の河童橋。

詳細はこちらへ！

レクリエーションの森 ▶



笹ヶ峰自然休養林の木道。

みどりとふれあうフェスティバル



- 1 全国の木のおもちゃで遊べるひろば。
- 2 チェーンソーで木を切る体験。
- 3 木の壁でボルダリングも体験できる。

※写真はすべて平成29年度のものです。

みどりとふれあうフェスティバル

日時：平成30年5月12日（土）11:00～17:00
5月13日（日）10:00～16:00
会場：東京都千代田区日比谷公園
にれのき広場等
入場料：無料

詳細はこちらへ！

みどりとふれあうフェスティバル ▶



マフトピックス

MAFF TOPICS

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。「MAFF TOPICS」では、農林水産省からの最新ニュースなどを中心に、暮らしに役立つさまざまな情報をお届けいたします。

取材・文／細川潤子



あふラボ | 国産トリュフの人工栽培化を目指す



黒トリュフを使った料理。



「黒いダイヤ」と呼ばれる黒トリュフ。



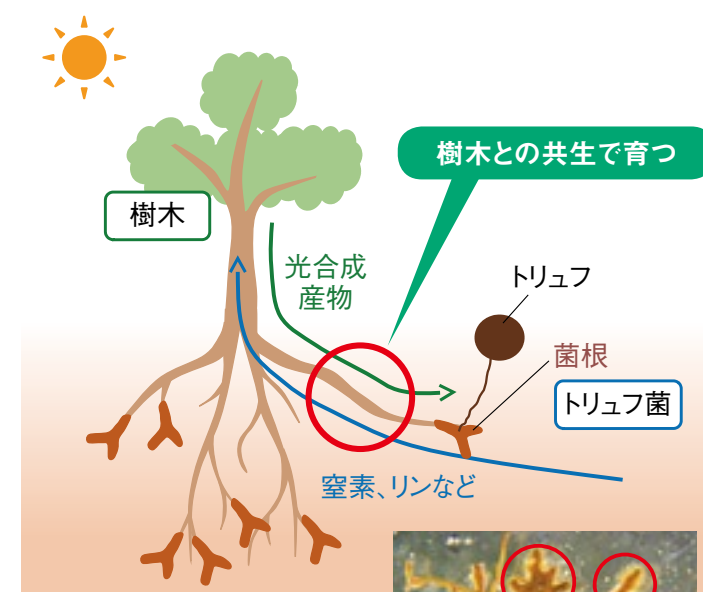
人工栽培を目指す、日本で新種の白トリュフ・ホンセイヨウショウロ。

**生態を明らかにして
トリュフをもっと身近に**

トリュフは、キャビア、フォアグラと並んで世界三大珍味の一つに数えられる高級食材。「黒いダイヤ」や「白いダイヤ」とも呼ばれ、ヨーロッパでは古くから珍重されています。最近の研究で、実は日本にも20種以上のトリュフが存在する可能性があることが明らかになりました。

国立研究開発法人森林総合研究所は、東京大学、菌類懇話会と共同で、国内で採取された2種のトリュフを新種と確認し、「ホンセイヨウショウロ」と「ウスキシヨウシヨウロ」と名付けました。特に白色をしたホンセイヨウシヨウロは、日本各地に生息しており、欧米の白トリュフ同様の独特の風味から食材にも適しているため、人工栽培技術の開発に取り組んでいます。

現在売られている食用きのこは、おがくずなどに菌を植えつける「菌床栽培」や、樹木に菌を植えつける「原木栽培」によるもの。トリュフはこれらと違い、「菌根栽培」になります。菌根とは、土中で菌糸が樹木の根と共生しながら生育するもので、野外でしか栽培できません。また、発生条件もよく分かっていないため、人工栽培は難しいとされています。ちなみに、マツタケも同じく菌根栽培。これらの人工栽培技術の開発には、樹木との共生関係を明らかにすることが重要です。



トリュフは樹木の根と共生しながら増殖する菌根菌のきのこ。土中の菌糸が窒素やリンを吸収して樹木に提供し、代わりに樹木が光合成で得た産物で生育する。



形成初期の菌根。



あふトリビア

豚がトリュフ探しをできるわけ

野外でトリュフの採取に豚を用いるのは、トリュフの香りがオスのフェロモンと似ているため。したがって、メスの豚が使われています。ただ、最近は扱いやすいという理由などから、訓練された犬を使うことが多くなっています。

読者の声

読者の皆さまから寄せられた
『aff(あふ)』2月号へ
ご意見・ご感想を紹介します。

「蚕業革命」を興味深く読みました。かつては茶や陶磁器と並ぶ東洋の重要貿易品だった絹。衰退傾向が続く中、新たな芽が育まれつつあることをうれしく思いました。(20代・男性)

昔はあちらこちらに桑畑がありました。養蚕業が復活し、関連産業が輝きを取り戻せば、日本も元気になるのではないかと思います。(50代・男性)

祖母からカイコを飼っていた話を聞いたことがあります。「おカイコさん」と呼んで大切に育てていたそうです。また各地で養蚕が盛んになるといいですね。(50代・女性)

カイコは“美しい絹を生む虫”という認識しかなく、医療の分野にも活用されているとは知りませんでした。まさに可能性を秘めた“天の虫”ですね。(40代・男性)

「和紙」の手漉き体験をしたことがあります。出来上がった和紙で絵はがきを送ったところ、とても喜ばれました。「未来を担う生産者」の和紙職人の方には、伝統と技術を後世に伝えてほしいです。(40代・女性)

「ニッポンの郷土料理」を楽しく読んでいます。家でつくってみたいので、レシピを掲載してほしいです。(60代以上・男性)

広報誌aff(あふ)の感想をお聞かせください

今後もよりよい広報誌とするため、読者アンケートにご協力ください。農林水産省Webサイト「aff(あふ)」のページから回答できます。



メールマガジンのご案内

大臣メッセージや施策の紹介、イベント情報などをお届けする「農林水産省メールマガジン」を毎週月曜日に発行しております。ぜひご覧ください。無料です。
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag>

フェイスブック・ツイッターのご案内

フェイスブック <https://www.facebook.com/maffjapan>
ツイッター https://twitter.com/MAFF_JAPAN

シバザクラを活用した 棚田の保全管理

多面的
機能支払
交付金
[第8回]

山口県周南市大道理地区の向道環境保全会は、シバザクラを活用した棚田の保全管理に努めています。

棚田の法面(斜面)は傾斜が急で、そこでの草刈りは危険で重労働です。そこで労力軽減を図るため、交付金を活用して棚田の法面にシバザクラの植栽を実施。植栽には都市部のボランティアも募りました。また、シバザクラ植栽のデザインは、市内のデザイン専門学校の学生など若者の意見を取り入れました。

1haの法面に10万本のシバザクラが咲いた棚田は観光名所となり、毎年多くの見学者が訪れるようになり、これをきっかけとして見学者をもてなすための地元主婦による弁当販売も始まりました。

こうした活動により、住民同士の連帯感が生まれるとともに、「自分たちの地域は自分たちで守る」といった意識が生じて地域は活性化。シバザクラの植栽は、地域資源の保全、多面的機能の維持・発揮、地域振興の大きな原動力になっています。

地域振興の大きな力に!



上/法面に咲くシバザクラ。 右/市内に飛来するナベヅル(国の天然記念物)のデザインは、選考会で決定。
植栽作業には、都市部からも参加。 写真提供/大道理夢求の里交流館



地元主婦の加工グループ・はたの工房による「まんかい弁当」。地域内で収穫された野菜などを使った手づくり。

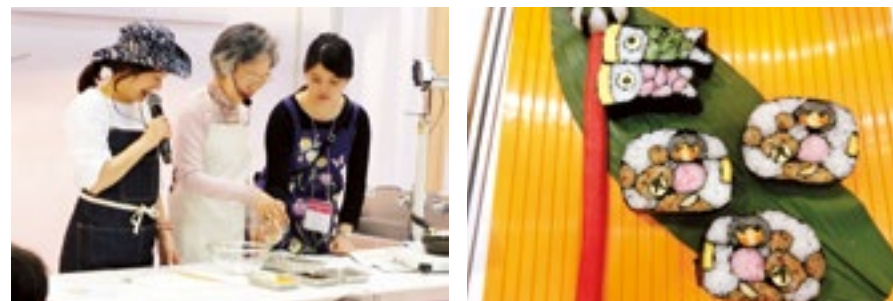
多面的機能支払交付金とは…

農業・農村の有する多面的機能が、適切に維持・発揮されるよう、農用地や水路、農道等の地域資源を保全している地域の共同活動を支援するための交付金です。

News 2 | 食のプロから学べるおいしいイベント



主催者スペース「ごちそうまレッスン」では、説明を受けながら実際に調理などを体験できる。



食のプロによるおいしい料理のつくり方の実演。 こいのぼりの巻きずし。趣向を凝らしたレシピも紹介。

第11回ホビーッキングフェア2018

日時:平成30年4月26日(木)~28日(土) 10:00~18:00(最終日は17:00まで)
場所:東京ビッグサイト(東京国際展示場)東4ホール 東京都江東区有明3-11-1
入場料:1,500円(当日券) ※3日間有効

「漬物グランプリ2018」も 同時開催

第11回ホビーッキングフェア期間中に、「漬物グランプリ2018」が開催されます。伝統的な食文化である「漬物」を通じて、漬物の価値の再認識、日本の食文化のさらなる発展、地域の活性化などを目指して実施されます。

1次審査、2次審査を経て、「法人の部」「個人の部」各10作品程度が決勝大会に進出します。

決勝大会は、ホビーッキングフェア内の特設会場で開催。審査員による評価に加え、イベント来場者の一般投票結果も加味してグランプリを決定します。多くのご参加をお待ちしています。



左上/法人の部グランプリの「あんず梅」。 右上/個人の部グランプリの「彩り野菜でご飯のおとも」。 左/展示・試食コーナーに集まる参加者。



詳細はこちらへ!

ホビーッキングフェア2018 ▶



漬物グランプリ2018 ▶

